

フレンドリー

FRIENDLY



ほん だん

中国・邯鄲市小・中学生訪問団 大垣訪問

8/23～8/27 小・中学生15人、引率者2人



大垣市役所にて表敬訪問



歓迎レセプションにて舞踊披露



大垣市立興文中学校訪問



生け花体験



ホストファミリーと一緒に



ホストファミリーと対面



白川郷にて



大垣城見学



和菓子作り体験

日程表

- 8/23 大垣到着、大垣市表敬訪問
- 8/24 白川郷、高山見学、その後ホストファミリーと対面
- 8/25 ホームステイプログラム
- 8/26 興文中学校訪問、和菓子作り体験、生け花体験、大垣城見学、歓迎レセプション
- 8/27 ホストファミリーとお別れ。その後、邯鄲市訪問団は、京都、大阪を見学し、8/29に帰国

中国・邯鄲市から平成24年度以来7年ぶりに、学生訪問団が大垣を訪問されました。3泊のホームステイを通して、日本の日常生活を体験され、また学校訪問や市内外の見学を通して、日本の伝統文化や同年代の生徒との交流をされ、帰国されました。次回も中国からの訪問団のみなさんをお待ちしています。お世話になった皆様、ありがとうございました。

No.88
2019
SEPTEMBER

これからの多文化共生社会に向けて

平成30年(2018年)12月、臨時国会にて「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し、平成31年(2019年)4月に施行されました。

新しい外国人の在留資格「特定技能」が創設されました

外国人が日本に在留するためには、在留許可が必要です。「就労が認められる資格」、「身分・地位に基づく資格」など29種類の在留資格があり、今回、就労が認められる在留資格(19種類)の中に「特定技能」の在留資格ができました。

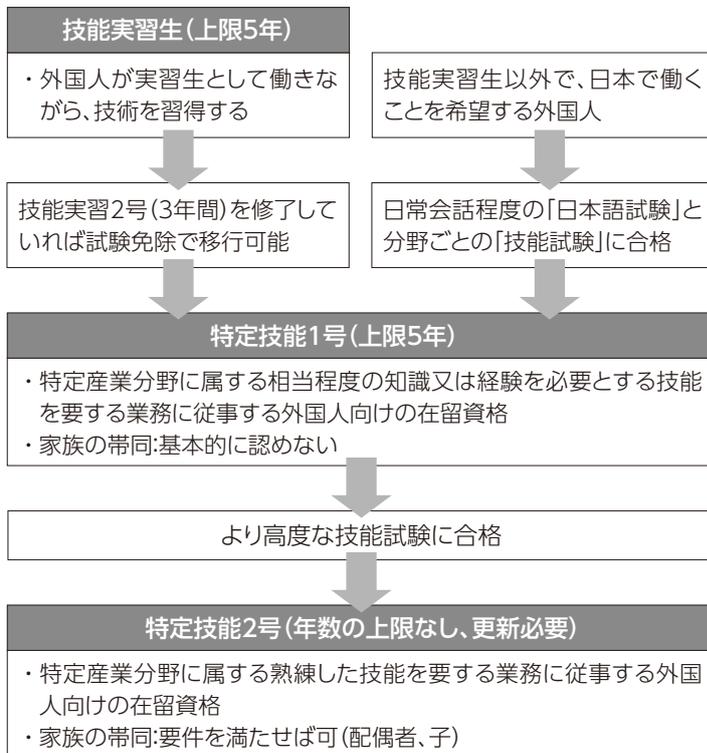
就労が認められる在留資格(19種類)

在留資格	該当例
外交	外国政府の大使、公使等及びその家族
公用	外国政府等の公務に従事する者及びその家族
教授	大学教授等
芸術	作曲家、画家、作家等
宗教	外国の宗教団体から派遣される宣教師等
報道	外国の報道機関の記者、カメラマン等
高度専門職	ポイント制による高度人材
経営・管理	企業等の経営者、管理者等
法律・会計業務	弁護士、公認会計士等

在留資格	該当例
医療	医師、歯科医師、看護師等
研究	政府関係機関や企業等の研究者等
教育	高等学校、中学校等の語学教師等
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者等、通訳、デザイナー、語学講師等
企業内転勤	外国の事務所からの転勤者
介護	介護福祉士
興行	俳優、歌手、プロスポーツ選手等
技能	外国料理の調理師、スポーツ指導者等
特定技能	特定産業分野の各業務従事者
技能実習	技能実習生

「特定技能」とはどんな資格?

中小・小規模事業者をはじめとする深刻化する人手不足に対応するため、一定の専門性や技能を持ち、即戦力となる外国人を受け入れていく仕組みで、相当程度の知識や経験を必要とする14の分野に従事する在留資格です。



特定技能で従事する14分野:

介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関連産業、建設、造船・船舶工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食品製造業、外食業

これからの多文化共生社会のために

平成30年末現在で、日本に住む外国人数は約273万人となり、総人口の約2.2%を占めています。

国内の労働人口は減少しており、外国人が新たな労働力として期待され、大垣地域でも増え続けています。

そして、政府は、この新しい特定技能の資格で、今後5年間で約34万人の受け入れを見込んでいます。

外国人と一緒に地域で暮らすために、お互いを理解し合い、多様性が認められるまちづくりが必要であり、私たち一人ひとりが身近なこととして考えていくことが必要です。

外国人市民は、日本で生活するために日本語や日本の文化を学んでいます。同じように、受け入れる側の日本人も彼らのことを知り、理解し、協力する姿勢が求められています。

詳しくは、法務省のホームページに掲載されています。ご確認ください。

岐阜県における取組

岐阜県では、「岐阜県多文化共生推進基本方針」を定め、3つの方向性を基に取り組みを行っています。

岐阜県多文化共生推進基本方針(平成29年度～令和3年度)

<基本目標>

県内の在住外国人を、地域社会を構成する「外国人県民」として認識し、「県民が互いの文化や考え方を尊重するとともに、安心して快適に暮らすことのできる地域社会(多文化共生社会)」の実現を目指す。

3つの方向性

誰もが活躍できる環境づくり

安全・安心に暮らせる環境づくり

多文化共生の地域づくり

新たな在留資格「特定技能」の創設を踏まえ、外国人の活躍支援に一層力を入れていきます。

○岐阜県在住外国人相談センターの設置

(公財)岐阜県国際交流センター内に、ポルトガル語、タガログ語、英語、中国語、ベトナム語のできる相談員を配置するとともに、電話通訳サービスを利用して、14言語で対応する相談窓口を設置。(対応言語:相談員対応言語の他、タイ語、インドネシア語、ネパール語、韓国語、スペイン語、クメール語、ミャンマー語、マレー語、モンゴル語)。

★相談専用電話 058-263-8066 月～金曜日 9:30-16:30



▲在住外国人相談センター
(公財)岐阜県国際交流センター内

○外国人雇用に関する相談窓口の設置

岐阜県中小企業総合人材確保センターに、外国人の雇用に関する企業からの相談窓口を設置。

○外国人高校生等を対象としたキャリア教育の充実

外国人高校生を対象に、外国人の先輩社員が仕事内容や、やりがい等を紹介する講座やインターンシップを実施。

○外国人防災リーダーの育成・確保

在住外国人自らが、日本語に不慣れな外国人への防災啓発、災害時のサポートを行うことができるよう、外国人防災リーダー養成講座を開催。



▲外国人防災リーダー養成講座

大垣市内の外国語で相談できる窓口

相談窓口	内容	言語	相談日	連絡先など
西濃県事務所	行政相談	ポルトガル語	月～金曜日 9:15～16:00	0584-73-3520 大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎4階 西濃県事務所内
大垣市 まちづくり推進課	日常生活全般	ポルトガル語 英語	月～金曜日 8:30～17:15	0584-47-8562 大垣市丸の内2丁目29番地 大垣市役所内
(公財)大垣国際交流協会	日常生活全般	中国語	火曜日以外毎日 8:30～17:15	0584-82-2311 大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階
		英語	日曜日9:00～15:00	
	心の悩み相談 (要予約)	ポルトガル語	第2日曜日 9:00～16:00	
行政手続き相談 (要予約)	ポルトガル語、 中国語、英語	第1日曜日 13:00～15:00		

親子で楽しむ世界の子どもの遊び ～中国・ブラジル・ベトナム～

7/28(日)、スイトピアセンター、スイトピアホールにて

夏休み企画「親子で楽しむ世界の子どもの遊び」を開催し、小学生の親子16人が参加しました。中国、ブラジル、ベトナム出身の講師7人から、各国の学校生活の紹介をし、その後各国の子どもたちの遊びを一緒に行いました。日本にある遊びと似ているもの、初めてのものなどありましたが、参加者はみんな親子で楽しみました。参加者からは、「楽しかったが楽しかった」、「異文化を学びながら、楽しめるイベントに参加したい」などの感想がありました。



中国の紹介・遊び



中国の学校の様子

- ・登下校は両親または祖父母が送り迎えをする(子どもはかばんを持たず、大人が持つ)
- ・昼休みは2時間。夏の間は3時間

この4枚のとき
 $7 \times 3 = 21$
 $21 - 8 = 13$
 $13 + 11 = 24$



トランプを使ったあそび(4人グループ)

- ・1人一枚、トランプを出す
- ・その4枚を使い、足し算・引き算・掛け算・割り算を組み合わせで“24”にする
- ・24にできた人が、その4枚をもらえる
- ・一番多くのカードを獲得した人が勝ち

ブラジルの紹介・遊び



ブラジルの学校の様子

- ・小学校5年、中学校4年、高校3年
- ・私立も公立の学校も、授業料は無料
- ・学校は3部制(午前に行く人、午後に行く人、夕方に行く人)に分かれている
- ・給食はない(売店で買ったり、家に帰って食事をする)

太陽と月のあそび
 太陽=SOL(ソル)⇒立つ
 月=LUA(ルア)⇒座る
 掛け声に合わせて、その動作をおこない、最後まで残った人が勝ち



写真提供/SAKURA:大垣市咲楽

ベトナムの紹介・遊び



写真提供/SAKURA:大垣市咲楽

ベトナムの学校の様子

- ・小学校5年、中学校4年、高校3年
- ・多くの学校は半日授業
- ・保護者と一緒に登下校する
- ・昼休みは2時間

ダーカウ(=蹴る羽根)
 脚、ひじ、肩、背中などを使って、羽根を地面に落とさないようにするあそび。日本の蹴鞠と似ていますが、もともとは中国から広まった遊びのようです。

次回の異文化体験イベント
「親子で楽しむアメリカとイギリスの文化」
 日時：10月22日(火・祝日)
 13:00～15:00
 場所：スイトピアセンター
 10月2日(水)から申込受付します。
 みなさんのご参加お待ちしております。

米国オレゴン州高校生との 交流30周年を迎えて

国際交流ボランティアグループWING

会長 加藤咲子

1990年、
オレゴン異文
文化交流協会
(小沢勝義
代表)が派遣
する高校生グ
ループの受け



▲オレゴン高校生との交流30周年記念式典
入れをきっかけに、以来毎年ホームステイの受け入れ
を行い、今年で30回目を迎えました。



▲第27回アメリカンセミナー

今年度は、26
人の学生を受け
入れ、7泊8日の
期間中に、「オレ
ゴン高校生との
交流30周年記
念式典」を開催
しました。式典には、大垣市長さまはじめ来賓の
方々、オレゴン高校生のほか、ホストファミリーや、多
くの市民の方にご参加いただき、盛大に開催するこ
とができました。式典では写真による30年の歩みを
振り返りました。式典の後、一般市民が参加できる
「第27回アメリカンセミナー」を開催しました。セミ
ナーでは、日米双方の高校生代表が、互いの言葉で
将来の夢などについてスピーチしました。その後、グ
ループに分かれてフリートークで親睦を深め、日米の
文化の違いなど
についても活発
な意見が交わさ
れ交流の視野を
広げることがで
きました。



▲大垣市立牧田小学校訪問

恒例の学校訪問も実施しました。大垣市立牧田小
学校には、今年で9回目の訪問になりました。元気
いっぱい子どもたちに大歓迎を受けて、一緒に授
業をしたり、給食を食べたり、掃除をしたり楽しい一
日を過ごしました。また、大垣工業高等学校では、各



▲大垣工業高校生との交流「夢」に挑戦

学科の実習を
体験し、放課後
は剣道の体験
と、書道部で、
楷書や草書で
「夢」の字に挑

戦しました。ま

た、同校生徒との交流会では、日本の文化や食べ
物、来日して驚いたことなどを語り合い高校生同士
の素晴らしい交流ができました。

10月には、「第4回大垣市高校生アメリカ合衆国オ
レゴン州ビーバートン市、ユージーン市研修派遣」が
予定されています。WINGの地道な草の根交流が
実って、2015年に、オレゴン州のビーバートン市、
ユージーン市の2都市が大垣市のフレンドリーシティ
に加わることになり、大垣市で初めて高校生派遣事
業が実施されることになりました。今後もこの事業が
長く継続され、
日米高校生同士
の交流がいつそ
う充実したもの
になり、日本だ
けでなく世界に
視野を広げる若
者が育つことを願っています。



▲アメリカ派遣事業での交流

この30年間には多くの人たちとの出会いがあり、
受け入れを通して素晴らしい異文化の交流を育ん
できました。長きにわたり交流を続けることができ
たのは、WINGの活動を支えていただいた皆さまの
ご支援とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。
30周年を機に、これからも感謝の気持ちを忘れず
地域に根ざした活動を進めていきたいと思ひます。

株式会社野田クレーン様よりご寄附をいただきました

株式会社野田クレーン(代表取締役 野田 信行)様より、「外国人市民のための日本語学習支援事業」へ、200万円のご寄附を賜りました。

有意義に活用させていただき、地域在住外国人市民の支援活動を推進し、外国人市民と共生できる「まちづくり」をさらに幅広く展開してまいります。

ありがとうございました。



180人以上の外国人市民が日本語の会話学習のボランティアを待っています

大垣国際交流協会では、日本語の学習支援を行っています。生活する上で必要な日本語を学びたい外国人市民がとても多く、8月末現在145人が109人の日本語指導ボランティアと一緒に日本語の会話を練習しています。しかし、現在、180人以上の外国人市民が、日本語学習を受けるのを待っている状況です。



特別な資格は必要ありません。日本語指導ボランティアとして活動してみませんか。

年齢、経験は問いません!!
活動の曜日などのご希望もお聞きます!!

ぜひお気軽にお問合せください。お待ちしております!!

マンツーマン方式日本語学習者数
(令和元年8月末現在)

国	人数
ベトナム	65
ブラジル	33
中国	20
インドネシア	6
アメリカ	5
スリランカ	4
ラオス	3
韓国	2
フィリピン	2
ペルー	2
インド	1
バングラデシュ	1
マレーシア	1
合計	145人

イ・ン・フ・オ・メ・ー・シ・ヨ・ン

令和元年度のフレンドリーシティ派遣報告会

7月には小・中学生中国・邯郸市研修派遣、9月には中学生ベルギー・ナミュール市研修派遣を実施しました。また、10月には高校生アメリカ派遣も実施します。

各海外研修派遣団の報告会を実施しますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。お待ちしております!!

※《小・中学生派遣報告会 中国・ベルギー》

日時:令和元年11月16日(土)13:30~15:30

場所:スイトピアセンター スイトピアホール

※《高校生派遣報告会 アメリカ》

日時:令和元年12月14日(土)13:30~15:00

場所:スイトピアセンター スイトピアホール

また派遣の様子については、フレンドリー89号(3月号)で報告いたします。

大垣市内在住外国人の国籍別人数表

総数:5,408人(前号(平成31年3月号)との比較(175人増) ※令和元年8月末現在

人数	3月号との比較	人数	3月号との比較	人数	3月号との比較
ブラジル	2,426	112	バングラデシュ	11	-3
中国	1,223	-16	台湾	9	0
フィリピン	425	11	モンゴル	9	0
ベトナム	405	50	ボリビア	8	0
韓国又は朝鮮	287	-3	エジプト	7	0
ペルー	148	0	マレーシア	7	0
ネパール	123	5	イタリア	6	1
インドネシア	67	8	トルコ	5	1
アメリカ合衆国	40	8	ルーマニア	4	0
カンボジア	32	-3	シンガポール	4	1
タイ	32	3	イギリス	4	-3
スリランカ	30	-1	カナダ	3	-1
ミャンマー	26	5	コロンビア	3	0
パキスタン	23	0	コートジボワール	3	0
インド	14	2	ラオス	3	0
			ウクライナ	2	0
			アルゼンチン	2	0
			オーストラリア	2	0
			ドミニカ共和国	2	0
			モルドバ	2	0
			パラグアイ	2	0
			ガーナ	1	0
			メキシコ	1	0
			オランダ	1	0
			ニュージーランド	1	0
			スウェーデン	1	0
			ジャマイカ	1	1
			無国籍	3	-1
			ドイツ	0	-1
			ロシア	0	-1

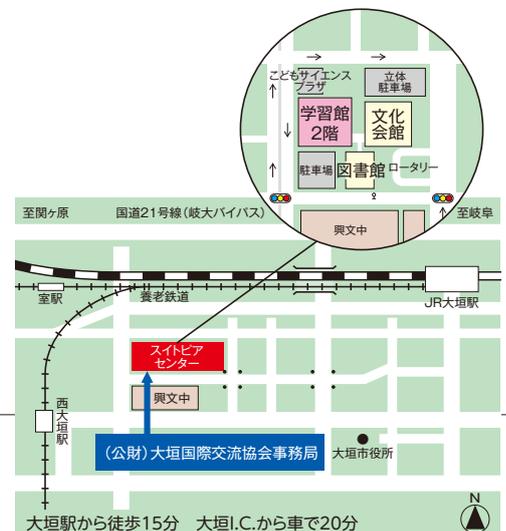
総人口に占める割合 3.4%

編集後記

7年ぶりに、中国・邯郸市から学生訪問団が大垣市を訪問され、国際交流が再開されたことは、大変喜ばしいことでした。

フレンドリー88号では、外国人の就労に向けての取組について、取り上げました。「特定技能」とはどんな資格なのか、関係機関、一般の方の認識を深めることが、多文化共生社会に求められる今後の課題として、当協会では、外国人の相談窓口の充実と、広報に努めることを記事として記載させていただきました。

「親子で楽しむ世界の子ども遊び」は、参加者に大変喜ばれました。楽しそうな親子の笑顔を見ますと心がなごみます。



フレンドリー No.88

編集/公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイトピアセンター学習館2階

TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314

http://www.i-oiea.jp/ [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行/2019年9月

印刷/サンメッセ株式会社